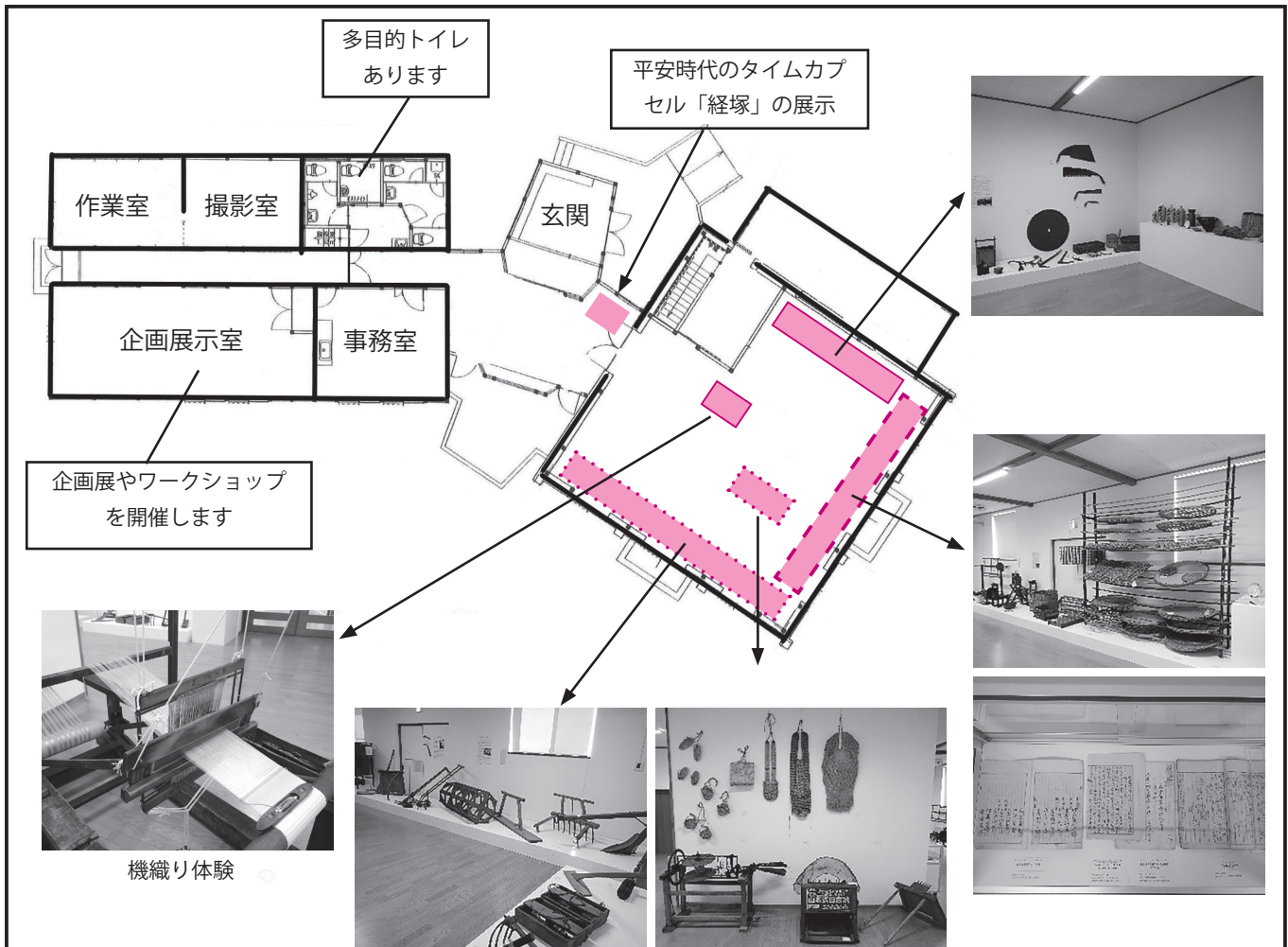


白鷹町歴史民俗資料館 あゆみしる からのお知らせ

7月23日にプレオープンしました歴史民俗資料館についてご紹介します。



1章 稲をつくる

人力、牛・馬で田を管理していた頃の稲作を紹介しています。三本鍬、田植杵、除草器、唐箕など。ワラを使った体験もできます。(秋以降)

2章 蚕を育てる

養蚕、製糸について飼育道具(蚕棚やワラダ)や座繰器^{ざくりき}を介して紹介しています。蚕の信仰や荒砥の養蚕伝習所に関する資料もご覧いただけます。

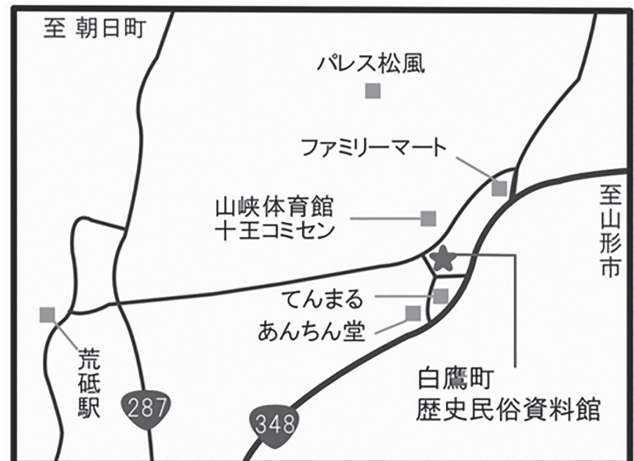
3章 さまざまな産業

白鷹町の産業を紹介しています。青苧、深山和紙、瀬戸山焼、酒造業、林業など。機織りも体験いただけます。

常設展示場では、現在およそ 120 点の民具をはじめとする様々な資料を展示しています。

ぜひ、ご来館いただき、見て・さわって・体験して、先人が工夫を凝らして使用してきた道具から白鷹町の歴史・文化に思いを馳せていただければと思います。ご希望に応じ、学芸員が詳しく説明させていただきますので、お気軽にお声がけください。また、展示している民具等に関してご存じのことがあれば、どんなことでも結構ですとお教えてください。今後の参考とさせていただきます、日々進化する資料館を目指してまいります。

開館日：毎週金・土・日曜日
時間：午前9時～午後5時
観覧料金：個人 200円
団体 100円 (10人以上)
※中学生以下は無料です。



場所：白鷹町大字十王 2558 番地 1 ☎ 88-7160

白鷹町歴史 民俗資料館

『あゆみしる』 が竣工しました！



7月21日（水）、白鷹町歴史民俗資料館の完成（外構工事を除く）を記念し、現地で竣工式が執り行われました。式には、佐藤町長はじめ町関係者、工事関係者が出席し、はじめに、安全祈願祭が行われ、佐藤町長より関係者の皆さまに、同資料館の竣工にあたり感謝の言葉が述べられ、その後テープカットが行われ、参加者全員で白鷹町歴史民俗資料館の門出を祝いました。

竣工式後には、石井紀子学芸員（白鷹町教育委員会）により、施設案内や展示品の説明が行われ、出席者の方々は、昔を懐かしむ声が聞かれ、当時の暮らしに思いを馳せながら、さまざまな種類の民具の説明に聞き入っていました。

本資料館は、旧十王地区コミュニティセンターを改修して整備されたもので、町で保管する3000点を超える民具、古文書、考古資料等の中から、選び抜かれた120点が、現在は常設展示されています。展示内には、機織の体験コーナーなどが設けられ、見て楽しむだけでなく、実際に触れて楽しむ、そして学べるといった当時の人たちの暮らしぶりを肌で体験できるようなコーナーも設置されており、子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる資料館となっています。

◆竣工式の様子◆



▲竣工式にあたりテープカットを行う、佐藤町長（左）と今野議長（右）



▲竣工式出席者に館内展示品の説明を行う石井学芸員（右）